

(学年) 第2学年、(教科・科目) 国語・国語総合

一斉学習

(単元) 文化とことば「水の東西」

(本時のねらい)

日常生活において自らの考えや意見を他者に伝える場面で、論理的な構成に注意して自分の意見を文章にまとめ、他者を説得する力を身に付けるきっかけにしてほしい。そのため、具体的な例から抽象的な見解へと論理を展開する本教材を味わいながら、段落分けと要旨をまとめさせたい。また、身のまわりの物事に興味を持ち、深く考える習慣を身に付けさせたい。

(ICT活用方法)

本文全体を画面に映し出すことで、全体の構成が見やすいようにする。また、他者が段落分けをしたものを電子黒板で共有し、視覚的に確認しながらその理由などを知ることによって内容の理解を深める。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・「鹿おどし」に関心を持つ。	・「鹿おどし」について、生徒が同じ条件で本教材を扱えるように配慮する。	・動画を電子黒板に映し出し「鹿おどし」を確認する。
展開 40分	・本文を通読し、三つの対比的なフレーズを確認する。 ・段落分けをし、各段落の要旨をまとめる。 ・「流れる水」と「噴き上げる水」が「鹿おどし」と「噴水」のどのような特徴に着眼したたえなのかを確認する。	・文章の展開のおおよそを押さえられるようにする。 ・筆者が「鹿おどし」「噴水」のどのような特徴に着眼しているかを理解させる。	・本文全体を電子黒板に映し出し、三つの対比的なフレーズを確認する。 ・授業支援クラウドアプリを用いて段落分けと要旨をまとめるワークシートを仕上げる。
まとめ 5分	・本時のまとめと次時の予告を聞く。		

(授業の様子)



(教材投影方法)



(板書とICT)



(学習の様子)

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

段落分けをするために本文全体をワークシートや電子黒板で一画面に提示することで、一目で全体の構成を見ることができたため、段落分けが比較的しやすかったようだ。また、他者のワークシートの解答を電子黒板に映し出すことで互いの考えを共有でき、互いの考えが理解しやすくなり内容理解の深まりにもつながった。

改善点としては、授業支援クラウドアプリを用いてワークシートに文章を書き込むことにまだあまり慣れていないので、ワークシートの記入に時間がかかってしまった。今後は、授業支援クラウドアプリの活用を頻度を増やし、スムーズに授業を展開していきたい。